

社会体験を通して

1. 目的と経緯

本園から徒歩10分のところに富士五湖消防本部が移転した。散歩での見学が可能となり、身近で緊急車両に触れ、消防隊との交流ができるようになった。また、体験学習ではタクシーに乗り、公立園に交流に出かけたり、地域の公園やスーパーでお買い物体験をしたりと日常生活の中で様々な人と交流を持ち、子どもたちの活動の幅を広げている。

2. 内容

消防署…日常の訓練や緊急車両の整備の様子、車両内の見学を行った。また、子どもたちの疑問や質問にも答えていただいた。



公立園との交流…園庭を開放していただき、遊具遊び・周辺散歩を行った。
この日は気温が高く、スプリンクラーでの水浴びも楽しんだ。



3. 成果と課題

多くの苦手さがあり、困り感を感じやすい子どもたちにとって、体験学習は必ずしも楽しいことばかりではないかも知れない。しかし、その場で過ごす事で少しずつ環境に順応していけるようになり、周囲の様子を見て興味・関心をもてるようになるなどの変化を見ると、この経験は無駄ではないと感じる。体験の中で社会のルールを知らせ、学習する機会をもつことで困りごとを一つでも減らせるきっかけになり、子どもたちの喜びや楽しみが変わっていかればいいと願う。